



国 分川原の金属加工会社「キリシマ精工(株)」。会社を訪れると見せてくれるのが、三角すいの枠の中にチエーンがぶら下がっているピラミッド。実は、工作機械による切削のみで加工しています。その技術が会社独自で開発した「カーブカット工法」。複雑な形状を作る際に必要な溶接や組み立ての工程を省き、大幅に製作期間を短縮させました。さらに加工精度も向上させ、超微細加工も可能に。その成果が、同社がサンプルで作った、髪の毛の太さと同じ直径0.2ミリの極小サイコロ。全国の展示会などで同業者たちをうならせ、昨年は国内有数の矯正

歯科医の依頼で矯正器具を手掛けるなど、医療分野にも進出しています。

同社の強みは「柔軟性ともものづくりへの探究心」と言い切る社長の西重保さん(65)。「独自工法の開発も、創業時の社員5人と最小限の機械で可能性を追求した結果。技術力の高さをPRする極小サイコロも社員のアイデア。『できないとは言わず挑戦しよう』の合言葉は全社員に浸透しています」と胸を張ります。会社では働き方改革を

実践し、基本的に残業は午後7時まで。創業14年で社員も10倍になり、成長はとどまるところを知りません。

そんな同社で検査業務に当たっているのが、入社2年目の蔵元小夏さん(19)です。日々、出荷する製品に小さな傷などがないか顕微鏡で確認しています。「私たちは、医療関連や衛星通信機器の部品も作っています。わずかな傷は事故や会社の信用問題につながる。すごく大事な仕事を任されていると感じます」と話します。

蔵元さんが入社を決意したのは、会社訪問のとき。西重さんが目を輝かせて会社の魅力を語る姿や社員の笑顔を見て「ここで働いてみたい」と直感しました。「先輩方は親切で仕事の面倒もよく見てくれます。その気持ちに込めるためにも、こつこつと自分の役割を果たしたい」と笑顔を見せました。

柔軟性と探究心で独自技術を開発。

ミライ、ワク・ワーク

vol.22

霧島市にはたくさんの企業があり、そこで多くの若者が生き生きと働いています。このコーナーでは、そんな企業や若者の暮らしを紹介します。第22回はキリシマ精工(株)の蔵元小夏さん(19)です。就職を控える生徒や学生の皆さん、ぜひ霧島市で働き・暮らすという未来を描いてみませんか。

取材協力企業
キリシマ精工(株)
 国分川原918-7 ☎0995(73)4311
 キリシマ精工 検索

代表者: 代表取締役 西重 保
 創業: 平成18年8月
 資本金: 1,000万円
 従業員数(男/女): 54人(39人/15人)
 平均年齢: 33歳
 有給休暇の平均取得日数: 10日/年
 月平均残業時間: 20時間
 育児休業取得者数(男/女): 該当なし
 平成30年採用実績(新卒/それ以外): 4人(4人/0人)
 初任給: 16万円~
 勤務時間: 午前8時~午後5時(年間休日115日)

市ホームページで、このコーナーのバックナンバーをご覧ください。

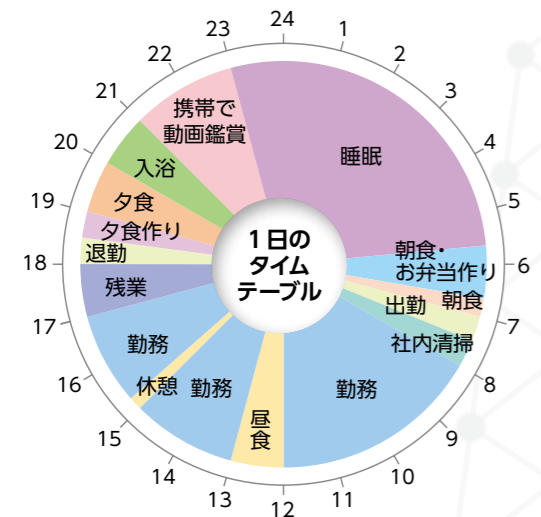


先輩方はみんな優しく、働きやすい会社です。

OFF

ON

キリシマ精工(株) 製造第三課
蔵元小夏さん(19)
 隼人町出身。国分中央高校生活文化科卒業。平成30年入社。趣味はお菓子作りとインスタグラム写真や動画共有アプリの映像鑑賞。家族5人で隼人町在住。



お菓子作りが大好きで、休日に作ったりしますが、両親の誕生日にはいつも特別なケーキを用意します。それは、日当山にあるヒミツキチさんのケーキです。

石釜で焼くこだわりのケーキやお菓子は、ロールケーキやマカロン、クッキーなど約60種類と豊富。赤いハート型のケーキや円筒のケースに入ったクッキーなど、見た目もすごくかわいいです。店内はトランク型の衣装ケースが商品棚になっていたり、バイクの模型があったりとおしゃれ。

私の一番のお気に入り日は日当山の温泉水を生地に練りこんだ「温泉シュー」。サクサクの生地の中には濃厚なカスタードクリーム、上にはさっぱりとした生クリームがホイップされ、いくつでも食べたくなるおいしさ。皆さんもぜひ、一度味わってみてください。



HIMITSUKICHI (ヒミツキチ)
 ●場所=隼人町姫城3-259-1 ●営業時間=午前11時~午後7時
 ●店休日=日曜(一部不定休) ●駐車場=約10台
 ☎=HIMITSUKICHI ☎(73)7276